

資料7 平成29年度に新たに導入した機器

ビッカース硬度計

(概要)

ビッカース硬さを測定するための装置です。鉄鋼をはじめとする金属材料から非常に硬いセラミックス材料の硬さ測定方法として幅広く用いられています。

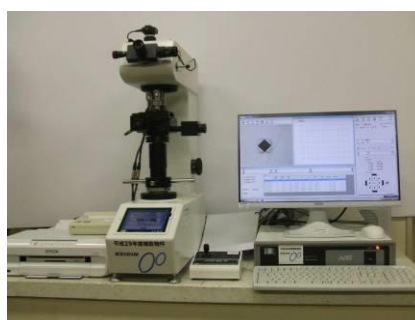
本装置では、X-Y 電動ステージを PC 制御することで、試験片平面上の硬さ分布の調査を行うことができます。例えば、熱処理の硬化層深さや溶接における熱影響の調査を行う際に役立ちます。

[型式]

株式会社フューチャテック FV810ARS 型

[仕様]

- ・試験力:9.807N、19.61N、29.42N、49.03N、98.07N、196.1N、394.2N、490.3N
- ・対物レンズ：×5、×10、×20
- ・接眼レンズ：×10
- ・試料台：X-Y 電動ステージ (X50mm、Y50mm)
- ・PC 制御による自動負荷、半自動圧痕計測が可能



(購入額)

2,596,320 円

(用途)

- ・金属材料の硬さ試験
- ・焼き入れ深さの測定
- ・溶接材料の硬さ分布測定

(設備使用料)

1時間につき 300 円

※ 本機器は、(公財)JK Aの補助を受けて設置しています。

大型振動試験機

(概要)

本機器は、製品を振動させることにより、製品の振動に対する耐性や特性を評価する装置です。また、恒温恒湿槽を使用することにより、指定した温度・湿度環境下で振動試験を行うことが可能です。

[型式]

IMV 株式会社 i240/SA3M、Syn-3HA-40

[仕様]

○加振機

- ・加振方向：垂直、水平
- ・加振方法：正弦波、ランダム波、ショック波、SOR 波、ROR 波
- ・振動数範囲：0～2600Hz
(水平加振台使用時：最大 2000Hz)
- ・最大搭載量：400kg
- ・最大変位：51mm-p
- ・加振力：正弦波 24kN、ランダム波 24kNrms、ショック波 48kN



○恒温恒湿槽

- ・槽内寸法 1,000×1,000×1,000mm
- ・温度範囲 -40～+150℃
- ・湿度範囲 20～95%

(購入額)

18,199,620 円

(用途)

- ・製品の使用環境下で発生する振動に耐えて、その性能を発揮できるかどうかの確認
- ・製品の輸送時に、製品およびパッケージが故障や破損しないかどうかの確認

(設備使用料)

1時間につき 2,570 円

※ 本機器は、(公財)JK Aの補助を受けて設置しています。